

名寄市立総合病院物流管理システム導入業務評価基準

(実施要領 別紙1)

評価項目	評価の視点	配点	得点
ア 業務実績		40	0
同規模の病院への納入実績があるか	同規模の病院へ同様のシステムを納入した実績が豊富であるか。 平成28年度以降に病床数300床以上の日本国内の病院の物流管理システム導入業務に2件以上の契約実績が無い場合は、評価基準の得点合計を0点とする。	20	
同規模の複数施設で安定稼働しているか	同規模の複数施設で、現在も安定稼働をしているか。	20	
イ 人員体制		40	0
導入に必要な人数の確保	導入支援に十分な人員の確保ができるか。 特に、システムの切り換え時は、カードの貼り替え作業を院内全体で同時に行わなければならない、そのために十分な人員が確保できるか。	20	
責任者の実務経験	十分な実務経験を有する者を責任者として配置できるか。本件の責任者となる予定の者がこれまでにどのような業務を行った経験があるか。同一業務の経験年数が3年以上有する者を責任者として配置できない場合は、評価基準の得点合計を0点とする。	20	
ウ 導入計画、導入支援体制		40	0
導入計画は適切か	院内業務に支障がなくスムーズに導入が可能な計画であるか。	20	
導入支援体制は適切か	院内業務に支障がなくスムーズに導入を可能とするための支援の体制が十分であるか。 特に、マスタ整備や定数設定などの導入支援が十分なものであるか。	20	
エ 保守体制		60	0
電話対応	電話による問い合わせが可能か。対応できる曜日、時間帯などが適切か。特に緊急時において迅速な対応が可能か。	20	
リモートメンテナンス	リモートメンテナンスが可能か。対応できる曜日、時間帯などが適切か。特に緊急時において迅速な対応が可能か。	20	
オンサイト保守	特に緊急時において迅速な対応が可能か。	20	

名寄市立総合病院物流管理システム導入業務評価基準

(実施要領 別紙1)

評価項目	評価の視点	配点	得点
オ システムの機能		220	0
在庫管理	倉庫在庫及び部署在庫の数量を適切に把握できるか。特に臨時分の請求、払出し、在庫数量の管理において業務の省力化が図られるか。	20	
定数管理	臨時払出し分も含めた消費実績から容易に定数の検討が可能であるか。	20	
マスタ管理	マスタの入力、管理について、作業の省力化が図られるか。特に、物品マスタの管理においては、データの正確性を担保する機能を有する事が望ましい。	20	
操作性・視認性	直感的に操作しやすいユーザーインターフェースであるか。必要な情報が見やすく表示されるか。	40	
効率性	効率的な業務の遂行が可能であるか。特に、現行のシステムと比較して作業効率が上がるか。	40	
拡張性(1)医薬品の管理	医薬品の管理が可能か。トーションの薬剤管理システムと連携して、オーダーから払出しデータを自動作成するなどの業務効率化が可能か。	40	
拡張性(2)手術室の実施管理	術式セット及び手術予定の登録が可能か。手技毎の物品準備リストが出力できるか。実施結果を患者、術式毎に入力することで、手技毎の消費実績を把握する事が可能か。	40	
カ 見積金額		100	0
導入費用+保守5年間の費用	見積金額が最も低い者:100点、2番目に低い者:70点、3番目に低い者:30点 4番目以降は0点とする。	100	
得点合計		500	0